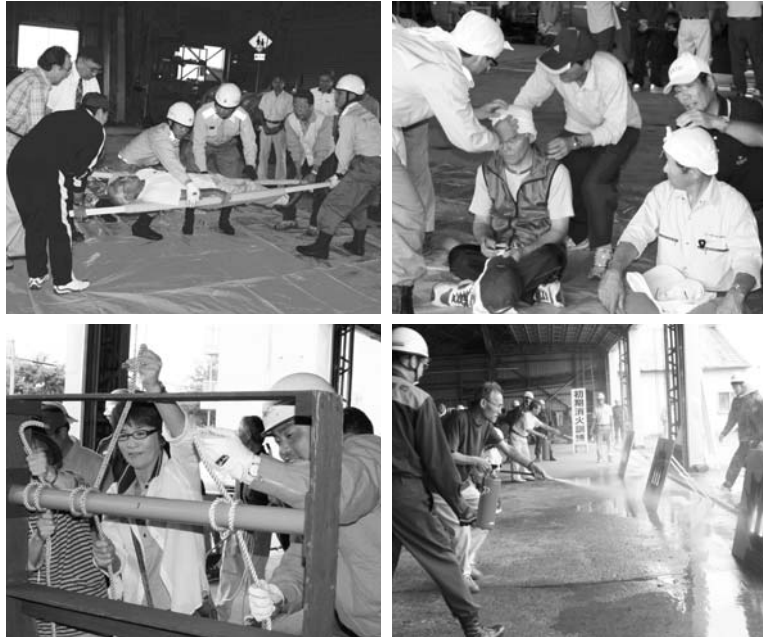


万が一の時に役立つ技術を体験

参加者は総合車輛車庫に集合。災害時の初期動作を実際に体験し学びました。毛布やTシャツを使って担架を作り負傷者を搬送する訓練や、三角巾を使い止血方法を学ぶ救護訓練、またロープ訓練も体験。最後は消火器を使った消火訓練を実施。



防災力を高めよう

羽幌町では9月5日、総合車輛車庫において防災訓練を実施しました。災害はいつ襲ってくるかわかりません。自らの安全は自らが守ることが防災の基本です。もしもの時のための備えは万全ですか？ 災害時に慌てず行動するために、この機会に家族で、職場で、地域で話し合っ防災意識を高めましょう。



防災訓練の一環として、頭部をけがした場合の応急処置の方法を実技を通じて学びました

日頃の鍛錬の成果を十分に発揮

初期動作の訓練の後、震度6の地震が発生したという想定で、消防署と消防団による救助・救出訓練と火災防ぎょ訓練が行われました。参加者が見守る中、きびきびとした掛け声が響き、緊張に包まれて果敢な訓練が展開されました。



焼尻島では、避難場所へ避難訓練

離島地区の防災訓練は、昨年は天売島で実施。今年度は焼尻島で9月26日行われ、行政、関係機関、島民を合わせ160名が参加しました。大雨により洪水・土砂災害の危険があり、全島に避難指示が出されたという想定で、支所に災害対策本部を設置。島民は焼尻研修センターへ避難するという訓練です。各区長や消防団の協力により、スムーズな避難が行われ、最後は炊き出し用白米パックが配布されました。



平成22年度町防災訓練を実施しました

今年度の防災訓練は、災害が発生した時の初期活動の技術を学ぶことと、防災意識を高めることを目的として、参加者を募って実施。総合車輛車庫にて、一般参加者の他、消防職員、消防団員、警察職員と役場職員合わせて181名が参加しました。消防職員の指導を受け、災害時に役立つ訓練メニューを実際に体験し、みなさん真剣な表情を見せていました。

いざという時は地域の協力が大切です

参加者の棟方富一夫さんは、町内会で声を掛け9名で参加しました。いざという時に慌てないように、いろいろと体験できてよかった。みんなと参加したので心強いです」と答えていました。災害の時は地域の協力も欠かせません。

家族で、職場で、ご近所で、もしも災害が発生したら、何をすべきか、話し合ってみませんか。